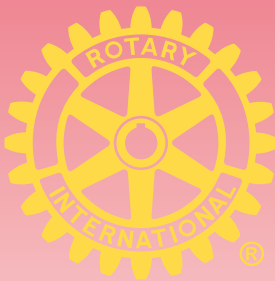


Rotary



週報

No.01213 2018.11.12 第16例会

2018～2019年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

◆本日のプログラム

11月12日
「イニシエーションスピーチ」
森永 純有 会員
奥田 詠子 会員

◆次回のプログラム

11月19日
クラブフォーラム
青少年奉仕/
歴史・文化研究フォーラム
青少年奉仕委員会
委員長 末吉 賢多 会員



BE THE INSPIRATION

◆理事・役員(2018.7～2019.6)

会長 竹本 千代子
副会長 山下 浩一
幹事 仲田 錠二
副幹事 鈴木 一生
理事・S.A.A. 小松原 隆代
副S.A.A. 日笠 伸之

会計 樋口 芳紀
理事・職業奉仕 平松 信
理事・社会奉仕 橘高 正剛
理事・国際奉仕 相原 利行
理事・青少年奉仕 末吉 賢多
理事・会員増強 入江 直人

理事・プログラム 岡本 和夫
理事・親睦活動 西岡 貞則
理事・ロータリー財団 横山 俊彦
直前会長 大饗 よし江
次期会長 山下 浩一

地区のスローガン

「チャレンジしよう」

クラブのスローガン

「直き・諒・多聞を友とし、クラブに友愛を」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

外部卓話

「わが国・わが県の経済 現状と展望」

日本銀行 岡山支店長 藤田 研二 様 (岡山RC)

わが国の経済は、所得から支出への前向きな循環が働くもとで、緩やかに拡大しています。7～9月期には、相次ぐ自然災害により、企業の生産活動や輸出、個人消費にマイナスの影響がみられましたが、こうした影響は時間とともに徐々に減衰していくとみられます。岡山県においても、西日本豪雨は人的・物的に甚大な被害をもたらしましたが、経済活動の面では、企業・行政の必死の努力により、マイナスの影響は最小限に食い止められており、結果的に、前向きの経済循環は途切れませんでした。

先行きを見渡すと、わが国経済、そして外需の追い風を受けてきたわが県経済にとっても、米国が進める保護主義的な通商政策の影響は気になるところです。これまでのところ、わが国企業活動への直接的な影響は限定的ですが、金融市場の動きなど間接的なルートを含め、世界経済、ひいてはわが県の経済活動へのインパクトを注意してみていく必要があります。日本銀行は、こうした不確実性も踏まえつつ、わが国の経済が活力を取り戻していけるよう、粘り強い金融緩和策を続けています。



前回11月5日の例会記録

出席の状況

会員数 55名(内出席免除者 1名) 出席者数 39名(内出席免除者出席 1名) 欠席者数 16名
出席率 70.91% 前々回訂正 94.55%
欠席者 相原, 藤木, 福元, 原, 日笠(常), 堀川, 加戸, 鴨井, 小菅, 楠, 松村, 森本, 大賀, 大畑, 大饗, 鈴木

会長報告

会長 竹本 千代子

ご結婚式を挙げられた高門宮家三女の絢子(あやこ)さま。翌30日の晩餐会で愛らしいピンクのドレスをお召しになっておられたのを、みなさまもテレビニュースなどでご覧になったことと聞いています。(ドレスのデザイナー 鈴木紀男)



このドレスのシルク生地は、カンボジアの女性が織り上げたものだそうです。発展途上国の支援に力を入れていた新郎の守谷慧(けい)さんのお母さまが、絢子さまのお母さま久子さまに贈ったものでした。慧(けい)さんのお母さま守谷季美枝(もりやきみえ)さんは、「NPO法人国境なき子どもたち」の専務理事として、活動をおられました。そして、タイのバンコクで活動中に突然の病に倒れ、56歳という若さで亡くなりました。その尊い活動は、絢子さまのドレス姿を一段と輝かせ、日本中の方から祝福と賞賛が惜しみなく送られました。季美枝さん亡き後もその魂の素晴らしさは、こうして語り継がれていくことでしょう。

この「国境なき子どもたち」は、ストリートチルドレンや支援の対象になりにくい恵まれない子どもたちを支え続けるという活動ですが、大宮中央RCや東京神宮(中野RC 2014年)などのRCが援助をされていました。

こうした世界の尊い奉仕活動を支えている一つが、「ロータリー財団」です。この財団を提唱したアーチ・クランプ氏は、「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に碑名をきざんだとしても、やがてはくずれてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。けれども、われわれがきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう」と発言しています。

今日の私たちの奉仕活動は、とても素晴らしい活動です。胸を張って活動が続けてまいりましょう。

最後になりましたが、今月は「ロータリー財団」月間です。どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

幹事 仲田 錠二

- ① ロータリーの友11月号、ガバナー月信Vol.5、本日の卓話の資料を配付しております。
- ② 11月25日(日)さん太ホールで開催いたします「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」のご案内及び当日の担当表を配付しておりますので、ご出席いただきますようお願いいたします。
- ③ 岡山旭川ロータリークラブより、11月18日(日)開催の「第4回岡山ネクステージジャズコンテスト」のご案内がございましたので、回覧いたします。



- ④ 本日例会終了後13:30より、3F「エメラルドの間」において「第5回理事役員会」を開催いたしますので、理事役員の皆様はご出席ください。
- ⑤ 11月7日(水)18時30分より、ホテルグランヴィア岡山2F「オリビエ」において「新会員歓迎会」を開催いたしますので、ご出席予定の皆様はよろしくお願いいたします。
- ⑥ 岡山北西ロータリークラブのバナーを在庫が少ないため作成いたしますが、バナーのデザインを変えてもよいのではとのご意見があり、皆様にデザインを公募させていただきたいと存じます。よい案がございましたら幹事までお知らせください。ご参考までに他クラブのバナーをお持ちしております。
- ⑦ 財団室NEWS11月号、バギオだより11月号、他クラブ週報を回覧いたします。

スマイル報告

竹本会長：日本銀行岡山支店長藤田研二様、本日の卓話とても楽しみにしています。お忙しい中ありがとうございます。

仲田幹事：日本銀行岡山支店長藤田研二様、ようこそ岡山北西ロータリーへ。本日の卓話楽しみにしています。

高橋会員：お札の元締め日銀支店長藤田様をお迎えしてスマイル。近年お札を刷れども刷れども、中心部の地価と株価を除いて、物価の上昇がありません。特に地方岡山経済に対する対策として、辛口本音のコメントをお願いします。

岡本(和)会員：藤田研二様、本日のご来会誠にありがとうございます。卓話を楽しみにしています。

小松原会員：日本銀行岡山支店長藤田様、本日は難しいお金のお話を解りやすくお話下さるとのこと、楽しみに拝聴させていただきます。ありがとうございます。東京からの新幹線が無事に12時に着き、例会に遅刻することなく出席できました。

山下会員：巨人軍の監督に原辰徳氏が復帰しましたのでスマイルします。

笠原会員：長い事休みました。スマイルします。

丹治会員：結婚記念日のお花をありがとうございました。

日笠(伸)会員：今月は結婚記念の方が大勢いらっしゃいます。結婚記念のお花が届き、奥様がスマイルをされましたらスマイルをお願いいたします。

ハローファクトリー：売上の一部よりスマイルを頂いております。

クラブ情報

10件 32,480円（累計 687,622円）

誕生日スピーチ

洲 脇 史 朗 会 員

私はこの11月で70才になります。この年齢になると生まれ故郷が無性に懐かしくなるものです。私は岡山市の一宮で生まれ、幼稚園の頃までそこで過ごしました。その頃、近くにあった吉備津彦神社をよく訪れ、巨大な石灯籠に登って遊んでいたことを覚えています。

そして70才を迎えた今、その吉備津彦神社をしばしば訪れるようになりました。私は大きな杉の木のある近くにある細長い休憩所が好きで、そこから社殿の奥に広がる吉備の中山を飽きもせず眺めています。過ぎし日々を回顧したり、これからの生活を思い描いたりしながら、1時間ほどゆったりした時間を過ごしています。

もし皆さんが吉備津彦神社を訪れることがあり、巨木の近くにある休憩所に座ってボーと社殿と山を眺めている男性がいたら声をかけてください。きっと私です。



野球同好会からのお知らせ

野球同好会幹事 日 笠 伸 之

高松西RCと交流戦を行います。試合後は懇親会を行いますので皆様ふるってご参加ください。

【試合】

- ・日時：2018年12月1日(土)14:30～16:30 ※14時集合
- ・場所：高松市立東部運動公園 軟式野球場（高松市高松町1347-1）

【懇親会】

- ・時間：18:30から
- ・場所：天勝本店（高松市兵庫町7-8）
- ・会費：1人 6,000円



本居宣長(1730～1801)の生家は小津家の分家で、本家初代は蒲生氏郷のもとで戦死した本居武秀の遺児七右衛門である。小津家はさきに述べたように裕福な商人で、宣長も父と死別後叔父を頼って江戸へ出、商売の道を歩みはじめた。しかし学問好きな宣長は商売の道を断念し、医学の修行のため京へ上った。契沖の『百人一首改観抄』を読んで古典研究に目覚めた。出自を自覚し、小津から本姓の本居に改姓、名を宣長、号を春庵とした。京で医者になるも、2年後に松阪に帰り魚町で開業した。これより40年間にわたって医業と古典研究・門人教育を行い、『古事記伝』を著した。紀伊徳川家の家中・藩医という身分も付与されていた。

松阪は先にも述べたとおり、三井発祥の地である。少しだけふれておこう。三井高利(1622～1693)は父高俊・母殊法の間に8人兄弟(男4人女4人)の末子として生まれた。家業は質屋を兼ねて酒・味噌を販売しており、「越後殿の酒屋」と呼ばれていた。このため三井の「越後屋」という屋号が生まれ、現在の「三越」へと繋がっていく。母がやり手で、節約と廃物利用を徹底し、「すぐれて細かく難しい人」であったという。長兄の江戸店を手伝うため江戸へ出、商才を発揮する。妻かねとの間に十男五女をもうけ、子どもの成長に夢を託し、江戸店の拡張や京へ進出する。江戸店は現在の日本銀行の構内にあった。店前売を始め、薄利多売・現金販売で業績は急速に伸び、また金融でも、大名貸・家中貸・郷貸・米貸で巨利を得た。1667年紋所を「釘抜紋」から「丸に井筒三の文字」に改定、今の就業規則に当たる店務や心得などを整備した。「一家一本 身上一致」を基本に据えて遺言書をしたためている。墓所は京都黒谷の「真如堂」にある。

歩いて名古屋から3日、大阪からだ5日かかっていたお伊勢参りも、今や団体だと高速道利用となる。日も傾きはじめて頃、初日最後の二見浦観光に向かった。台風25号の余波か、白波が立つほどの風のなか、夫婦岩をバックに多くの二人づれがシャッターを切っていた。浜参宮と称して、遷宮の際のお木曳きでは、参加者はあらかじめ二見興玉神社に参拝してムクシオ(海草)を受ける習わしがある。薄暮のなか、宿のエキシブ鳥羽へ到着し、趣向を凝らした料理と会話を楽しんだ。

三重県といえば、真珠である。今では長崎県や愛媛県とともに三大産地の一つであるが、かつては常に全国第一位の座を占めていた。ここで真珠王と呼ばれた御木本幸吉(1858～1954)にふれておこう。御木本は志摩国鳥羽浦で生まれ、家業のうどんの製造販売を手伝っていたが、真珠が有望な貿易品であることに目をつけると、有力者の知遇を得て、真珠の養殖の研究を始めた。35歳の時、施術した貝のなかから「貝付半円真珠」を発見し特許を得た。事業家としても能力を発揮し、銀座をはじめ海外にも販路を広げていった。反面、特許出願や自身の演出に強引なところもみられ、漁業権独占に対する反発も受けた。研究を主導した桑原乙吉、西川藤吉や見瀬辰平は悲運な生涯を送ったともいわれている。



二見浦夫婦岩



朝熊山展望台



金剛證寺庭園

例会情報

本日のメニュー (11月12日)

鴨肉と茄子 和のテイストを添えて
牛肉のポワレと焼野菜、牛蒡のソース
デザート コーヒー パンとバター

次回のメニュー (11月19日(ヘルシーメニュー))

井 親子丼(サーモン) いくら醤油漬 炒り胡麻
大葉 檸檬 山葵 舍利 県産昔醤油)
小 鉢 法蓮草の胡麻和え 菊花
小 皿 葱入り出し巻 染卸し
赤出汁 二種盛り



前回メニュー(11月5日):
造り 鱈炙り 瀬戸内鯛 鮭